

# Hi! アンドしです

社会教育指導員  
アンドレ・エスタニスラオ

私にとって初めての小野町の産業祭・文化祭は素晴らしいものでした！小野町のみなさんの才能を見る良い機会でした。私はみなさんと小野町の50周年をお祝いしました。私はまた、このイベントに仕事で参加したみなさんの成功をお祝いしたいです。

私は産業祭・文化祭で展示されたさまざまなものに、非常に強い印象を持ちました。会場に入ると、大きな菊の花が歓迎してくれました。そして、素晴らしい野菜と果物が小野町のみなさんの優れた農業の能力を表していました。また、生け花やお茶、書道の展示により、小野町が日本の伝統的文化がさか

んな場所であることを証明していました。町の巧みな伝統のバランスで、いろいろな農業機械や、またさらに縫製（衣類）の工業的な展示がありました。

幼稚園・保育園から中学生までの子供達が、素晴らしい絵画や書道で彼らの芸術的能力を示しました。小野町のいろいろなサークルのいろいろな展示もありました。私はまた、イベントに参加したさまざまな組織のボランティア精神に強い感銘を受けました。七宝焼の体験コーナーで、さまざまな色のガラスを使い、美しいスプーン、蝶やチューリップのペンダントを作ることを手伝ったことは、私にとって非常

に幸運でした。蓮田音頭のみなさんの踊りは、曇り空の中、会場のみなさんの気持ちを高揚させました。

食べ物はとてもおいしかったです！私は焼き鳥やたこ焼き、そしてチョコバナナを食べました。クレープも売っていました。

小野町の産業祭・文化祭は、町民のみなさんの強い友情と愛情で成功していると私は思います。

私はこの素晴らしい友情あふれる小野町に住むことができ、非常に幸せです。



産業祭・文化祭にて

## ふるさと小野町会 ふれあい通信

### 私の故郷の小さな思い出

村上 哲雄

(夏井出身)

少年時代は、稲作と葉たばこの農家でした。早いもので、卒業して、40数年が経ちました。子どもの頃、家の前は、広々とした水田と、たばこ畑。夏井川と蒸気機関車です。朝は、通勤と通学で駅は活気にあふれていました。SLは黒煙をはき、登っていく姿は、雄大でした。寒い朝、「ポーツ」という汽笛で目が覚めると、軒下には、つららが下がり、吐く息は白く、寒さは厳しかったが、自然は色々に思い出をくれました。

春には、桜の木の下で花見と大運動会を、農作業の手を休めて、手作り弁当を広げて親子で、味わい、隣どうしであげたり、もらったりして、冬は学芸会、自分たちの成長を親に見てもらい、楽しんでもらいました。

また、学校行事の一つに郊外実習で、「イナ」取りや、落ち穂拾いがありました。その代金は、図書室の本や部活の道具に変わ

りました。私たちは勉強を忘れ、夢中で野山や田畑を駆けめぐり、堤防の縁を大声で叫び、走り回ったものです。

今は、小学校は移転になり、中学校は工場に変わり、また子どもの時遊んだ川は、堤防が完備されて、裏山から千本桜は続き、名所となり、清掃も行き届き、高速道路上から見る千本桜は、美しく誇りです。今、東京に住み仕事をし、

朝夕は犬の散歩をして、趣味の盆栽を上野の東京都美術館の国風盆栽展に出品して、東京の同級生と食事を年一、二回集まっています。仲間は12人位です。みんな、集まると夏井のことをよく話します。これからは、ふるさと小野町会に入るようにお願いいたします。



(写真 左)